福祉、ふれあい、まちづくり

地域の連帯の輪を広げる

平成24年４月　開館を祝して（新中通児童館）

ひろば

第 79 号
平成24年９月１日
秋田市中通地区
社会福祉協議会

取り越し苦労？

秋田市中通地区社会福祉協議会
会長　熊谷宗雄

取り越し苦労？かもしれませんが、本号が皆様のお手元に届く頃には、「敬老の日」が間もないころになって、お祝いの品、お祝いの会の準備もほぼ終えて、当日を待っている状態と思いますが、例年のように多くのご参加があるだろうか？お天気は大丈夫だろうか？などと心配している事と思います。地区社協としての一大イベントであるこの「敬老お祝いの会」を、来年度も変わらずに、計画、実施出来るだろうか？などとついつい思ってしまうこの頃です。

と云うのも、高齢化が益々進む状況の中で、市当局の財政状況も厳しく、敬老対象者の年齢の引き上げや対象者一人あたりの補助の減額など心配材料が出てきており、これは私ひとりの杞憂であればよいのですが。

取り越し苦労？かもしれませんが、社協会費「全戸会員制会費＝年３６０円）の納付状況も少しずつながら下降して来て、赤い羽根共同募金も同様の傾向を示すなど、活動資金の原資としているだけに、このような傾向は、地区社協としては、極めて痛手であり、心配の種でもあります。

これは、中通地区社協だけの問題ではなく、市内全地区の社協が抱える問題かもしれません。

この問題を解決するには、地区の皆様に社協の活動の必要性やその価値を充分にご理解を頂きご協力を頂けるように、関係者が努力する事に尽きるのかもしれません。

取り越し苦労？かもしれませんが、来年は、中通地区社協の役員改選の年になります。私が当社協の会長職を仰せつかって四期八年目に入りました。鳥海事務局長さんも七年目になりますが、今年の春、健康診断で病気が見つかり、入院手術というアクシデントがありました。幸い今はお元気になられ、安心しておりますが、来年には退任したいとお考えのようです。中通の場合、社協、共募、日赤、等兼務という形になっており、事務局の仕事量も多く、中々大変ですが、鳥海さんには、熱心に、誠心誠意ご尽力頂いた事を心より感謝しております。

来年は、会長、事務局長を含め、素晴らしい方々で、役員構成が出来るように、今から祈るような気持ちでいますが、これも私の**取り越し苦労？**に過ぎない事を願っています。

児童館は地域のコミュニティセンター

新しい児童館

中通児童館運営委員会
委員長　鳥海　定

突如移転新築が持ち上がり直ちに設計施工に取りかかり平成二十四年三月下旬完成しました。四月二日に市長始め議長・厚生委員・児童及び関係者多数の出席のもと華やかに開館式が行われました。

建物の規模は、旧児童館より若干狭いけれどコンパクトで機能的で、遊戯室の天井が高く子どもたちがのびのびと遊べる空間であり、また遊戯室と図書室が離れており静かに学習したり、読書ができる良い間取りになっております。

時々児童館に立ち寄るが子どもたちは、厚生員（先生）の指導のもと、仲良くのびのびと活動している様子をみると頼もしく嬉しくまた微笑ましくなります。

当運営委員会の活動の基礎となる財源は、当会とは別に児童館協力会の組織（中通学区三十九町内会）があり、そこから全面的にご支援ご協力を頂いております。誠に有り難く思っております。

当運営委員会としては、児童の健全育成のため安全安心のできる環境づくりに、ソフト・ハード両面に、微力ながらお手伝いさせていただきます。今後とも特段のご支援ご協力をお願い申し上げます。

平成23年度運営報告

▼運営委員会▲

1．**児童館利用～**（利用延べ数307回）利用総数 9,116人、
（内訳　利用児童数 7,102人、一般住民利用人数 2,014人）
2．**運営費収入**（合計 53,223円）
3．**運営費支出**（支出合計 36,000円）　繰越金 17,223円
上記の他各町内会様より運営協力費を頂き、活動に役立てさせていただいております。（児童館運営協力会）
4．**児童館利用時間**（一般利用　午前８時30分～正午、午後6時30分～９時）

申込みは、児童館へ（TEL 018－834－9834）
※申込み時間午後１時～５時にお願いします。
なお、児童の利用は、下校時～午後６時30分、長期休みは、午前８時30分～午後６時30分まで開館（厚生員指導）

行事風景

(H.24年6/13) お花カードづくり
福島からの転校生も参加し、きれいなカードづくりを体験しました。

(H.24年4/25)
女児たちに大人気の大型ブロック

(H.24年7/11)
ゲームでハッスル！のバターリレーで赤チーム白チームがんばって走っています。

(H.24年5/23)
ゲームにチャレンジの行事終了後の児童たち。結果発表を聞いています。

平成24年度　年間行事計画

月	活動内容	行事予定日
4月	1年生をむかえる会	4／25（水）
5月	使ってべんりなエコバック ゲームにチャレンジ！	5／16（水） 5／23（水）
6月	おしゃれな花カードづくり アクアビーズアート	6／13（水） 6/27(水)~6/28(木)
7月	ゲームでハッスル！ 音がでる♪♪	7／11（水） 7／18（水）
8月	ブーブーちょきんばこ	8／29（水）
9月	水ってふしぎだね 学年別ドッジボール大会	9／12（水） 9／26（水）
10月	シャワープードル 子どものつどい	10／10（水） 10／24（水）
11月	森のいきものたち オセロ大会	11／14（水） 11／28（水）
12月	かおりのポット クリスマス会	12／ 5（水） 12／19（水）
1月	もちつきと昔あそび	1／15（火）
2月	あそび王になろう！	2／13（水）
3月	春のお茶会	3／ 6（水）

４月２日に開館式を終え、子どもたちが楽しみにしていた天井の高い遊戯室で、毎日元気いっぱいボール遊びをしています。運営委員会のご協力により毎日の水やりで館庭の芝生も生き生きと成長しています。

今年度の行事では、秋田市環境部の方々から指導していただき「水ってふしぎだね」と「森のいきものたち」を企画しております。

中通児童館児童厚生員
佐藤美枝子・黒澤美江子

子どもたちの声

一ねん一くみ　さが　えりこ

わたしは、あたらしいじどうかんがだいすきです。

ドッジボールやリカちゃんにんぎょうであそぶのが、たのしいからです。

一ねん一くみ　あべ　けん

ぼくは、バスケがだいすきです。わけは、だいすきだからです。じどうかんのほんは、すごくおもしろいです。ぼくは、じどうかんのせんせいもだいすきです。

一ねん二くみ　ふじわら　ここね

わたしは、じどうかんのゆうぎしつでさいしょ、にがてだったのはドッジボールでした。なぜかというと、やりかたもわからなかったけど、こんどは、やりかたもわかったし、できるようになりました。こんどからも、ドッジボールをがんばりたいとおもいます。

あとがき

本号には、秋田市社会福祉協議会　大塚妙子常務理事・秋田南中学校斉藤孝雄校長、中通小学校大山重幸校長はじめ多数の方々からのご寄稿を掲載できました。心から御礼を申しあげます。よりよいひろばの編集のため、次号はまた多くの方々の好意あるご寄稿を期待したいと思います。

編集委員
木山　二郎　鳥海　定
田村　知子　加藤長二郎
嵯峨　齊　細井　安子
池田　實　千葉　昭

秋田市中通地区社会福祉協議会 運営・活動報告

平成24年度地区福祉活動重点目標

本年度は、次のような４項目を目標として町内会、民生児童委員協議会等々の皆様のご協力を頂き、福祉活動を進めてまいります。

1．地域福祉活動計画の住民ニーズに対応した福祉事業
2．地区高齢者の防災意識の高揚及び地域安全ネットワークの推進
3．現社会風潮下における幼児、青少年の健全育成と日常的取組み
4．住民参加型のボランティア活動の推進

平成23年度　収支決算書

総収入額	1,565,727円
総支出額	1,277,506円
差引残高	288,221円
他に特別積立金	4,661,866円
全戸会員制配分金	1,932,574円

自 平成23年４月１日
至 平成24年３月31日

（収入の部）　単位：円

款	項	決算額	付記
1．交付金	社協活動費	827,361	共同募金・全戸会員制配分金
	事務費	131,620	日赤社資・共同募金事務費
2．寄付金	寄付金	190,000	「善意・寄付金」
3．繰越金	繰越金	207,564	
4．雑収入	預金利子	63	
	雑収入	0	
	繰入金	209,119	特別積立金より
合計		1,565,727	

（支出の部）　単位：円

款	項	決算額	付記
1．事務費	通信費	35,000	通信費
	印刷費	31,120	印刷費・コピー代
2．会議費	会議費	101,914	役員会・全体会議
	旅費	10,000	社協関係会議参加
3．福祉費	敬老会費	53,395	敬老会
	老人福祉費	215,000	長寿クラブ・ふれあい事業等
4．活動費	支払金(負担金)	79,000	各種団体への支払金
	研修費	53,000	研修会補助
	生涯教育費	162,685	広報誌ひろば印刷代
	助成金	54,300	見守りネットワーク等
5．慶弔費	慶事費	19,000	中通分団出初式祝賀会等
	弔事費	22,261	弔電代
	慰謝費	135,000	お見舞・東日本大震災義援金
6．雑費		45,191	事務用品・消耗品等
7．全戸会費		260,640	特別積立金へ
8．予備費		0	
合計		1,277,506	

特別積立金より	団体助成金	175,000	各種団体へ
	研修旅行(日帰)	28,690	

平成24年度　事業および行事のおもなもの

自 平成24年４月１日
至 平成25年３月31日

24年４月 8日	全市一斉清掃日
４月17日	**地区社協役員会（総会準備）**
４月20日	日赤社員増強運動について打合せ
５月	日赤社員増強運動月間（1日～31日）社協、民児協、町内会
５月11日	**中通地区社会福祉協議会総会**
６月21日	**研修旅行（レクリエーション・野外見学・生態系公園）（大潟村・サンルーラル大潟）**
６月29日	秋田市地区社協連絡会　総会
６月29日	秋田市地区社協連絡会　研修会
７月(中旬)	敬老者名簿調査と調整（長寿福祉課へ補助申請のため）
７月20日	**「広報ひろば」編集会議（１回目）**
８月 6日	役員会（敬老会実施について）
８月・11月	秋田市社協だより配布（年２回）
８月21日	**「広報ひろば」編集会議（２回目）**
８月28日	**「広報ひろば」編集会議（３回目）**
８月30日	**「広報ひろば」編集会議（４回目）**
９月 1日	**「広報ひろば」発行（９月10日配布予定）**
９月 5日	赤い羽根運動に関する打合せ会議（共同募金会）
９月17日	**中通地区敬老会（イヤタカ）**
10月	**赤い羽根運動月間（１日～31日）**
10月29日	秋田市社会福祉大会へ参加
10月～３月	定期的訪問事業『ふれあいの町づくり』事業
11月 7日	災害時要援護者情報の地域への提供について
12月(上旬)	共同募金実績報告会、歳末助け合い運動の打合せ会議
12月	**歳末助け合い運動月間、配分委員会等（１日～25日）**
25年１月（上旬）	新春懇話会（新年祝賀会）
２月（下旬）	Ａブロック交流研修会
３月（中旬）	年度反省会、新年度計画の打合せ

秋田市中通地区社会福祉協議会役員名簿

平成23年5月～平成25年3月

役職名	氏名	地区団体役職名	電話
顧問	寺田　光和	社福協(元)会長	832－6826
〃	加藤　定見	社福協(元)副会長	832－3174
〃	工藤　和郎	社福協(元)副会長	834－2225
〃	大嶋　洋三	社福協(前)副会長	832－2426
理事・会長	熊谷　宗雄	社福協(元)事務局長	834－2810
理事副会長	田村　知子	中通地区民児協参与	834－1740
〃	加藤長二郎	東通地区連合町内会会長	834－5620
〃	嵯峨　齊	中通地区民児協会長	832－4148
〃	木山　二郎	中通中央地区町内会連合会会長	833－5821
監事	小野地英紀	中通中央地区町内会連合会	833－3350
〃	小林　廣夫	東通地区連合町内会事務局長	834－5581
理事	武藤　良英	中通地区体育協会会長	833－2426
〃	小泉美代子	中通中央地区町内会連合会	835－2391
〃	佐藤　輝雄	中通中央地区町内会連合会	835－2852
〃	田口　和宏	中通中央地区町内会連合会	834－3378
〃	相場　竹治	東通地区連合町内会	833－3101
〃	千葉　昭	東通地区連合町内会	832－6354
〃	久我　淳子	中通地区民児協	834－3187
〃	佐々木郁子	中通地区民児協	833－0040
〃	深澤　濟子	中通地区民児協	834－2681
〃	佐藤　智子	中通児童館・児童育成クラブ	834－8222
理事・事務局長	鳥海　定	東通地区連合町内会	833－7271
理事・事務局次長	細井　安子	赤十字奉仕団中通分団	834－2146
〃	池田　實	中通地区民児協	832－6807

南中生の評判

秋田南中学校
校長　斉藤　孝雄

挨拶運動で校門に立った地域の方から、南中生は立ち止まって挨拶する生徒もいて感心したとのお話をいただいた。地区の健全育成の会議でも、南中生の評判は上々であった。外部の、総じて好意的な評価は素直に喜びたい。

しかし、学校の中は決して順風満帆ではない。それでも、上級生が良い方向に向かって先頭に立ち、下級生はそれを見て学ぶ姿が多々見られる。

これは、教職員のチーム力によるところが大きい。南中では、生徒一人一人の「今どこにいて、どこに向かうのか」を見極め、多くの目と手によるチームでの指導・支援を心がけている。

そして、それを支えているのが家庭や地域である。子どもを見守り、学校とともに子どもを育む環境があれば、学校も存分に指導力を発揮できる。

南中生の良き評判は、学校と家庭・地域が一体となって作ったといえる。

先般発表された全国学力テストで、秋田県が５回連続全国トップ級となったが、同様の背景が指摘されている。子ども一人一人に目配りする学校と、躾や指導の行き届いた家庭・地域だ。

このような恵まれた教育環境にあればこそ、より一層健やかに、より一層逞しい人づくりに努めていきたい。

一言添えて

中通小学校
校長　大山　重幸

子どもが自らの行動に自信をもち、次への活動意欲を膨らませるのはどのようなときでしょうか。それは、努力が認められたときと、人から感謝されたときです。

以前、人間の究極の幸せは、次の四つだというお話をうかがいました。

一、人に愛されること
二、人に褒められること
三、人の役に立つこと
四、人から必要とされること

人間の幸せは、物やお金ではなく、人とのかかわりから生まれるということです。特に、三と四を自覚することができたとき、自尊心は高揚し、「よし、またやってあげよう。」という次への意欲に繋がっていきます。

では、そのために私たち大人がしなければならないことはなんでしょう。それは、子どもの行動を価値付けてあげることだと思います。「君が手伝ってくれて、本当に助かったよ。」「席を譲ってくれてありがとう。」「よく我慢したね。偉かったよ。」と一言添えてあげることで、子どもは、自分の行動の正しさを学んでいきます。そして、その積み重ねにより「共感意識」がはぐくまれ、自他の命を大切にする温かい心をもった大人に成長していくのです。

一言添えて……。それが大人の務めです。

わたしたちのまちに学ぼう

中通小学校　三年一組担任
宇佐美　久美子

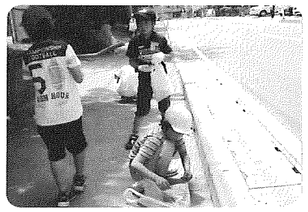
今年度、三年生の「総合的な学習の時間」は、「みんなの力でもっと楽しい中通のまちをつくろう」というテーマで中通地区に目を向けることにした。

始めに、これまでの学習を基に、中通地区のよさについて話し合った。「公園がたくさんある」「地域の人たちが優しい」「公共施設や病院がたくさんあって便利」などという意見が出された。

次に、大好きな中通地区のために自分たちはどんなことができるかを話し合った。「もっときれいにする」「もっと楽しくする」「もっと優しくする」という三つの活動の柱を決め、実践がスタートした。

まずは、六月十九日、中通地区の三ヵ所の公園（たまご公園、こまち公園、高清水公園）の清掃活動を行った。それぞれの公園を綺麗にしたいポイントについて話し合い、「みんなの力で公園をきれいにする」「気持ちよく公園を使えるようにすみずみまできれいにする」などと、めあてを決めて活動した。活動後は、「ゴミを拾ってきれいになったので、公園を気持ちよく使えるようになった」「公園をきれいなままにするためにゴミは持ち帰りたい」などと振り返る子どもが多かった。

次は、七月三日に、通学路の清掃活動を行った。「目立たないところのゴミを見付ける」「安全に気を付けてすみずみまできれいにする」などのめあてで取り組んだ。地域の方が「がんばっているね」「おじさんもゴミを拾っているんだよ」と声をかけてくださる場面もあった。振り返りでは、「地域の人たちも掃除をしているから、きれいなんだ」「ポスターを作ってゴミのポイ捨てをしないように呼びかけたいな」などという記述もみられた。



このように、子どもたちは地域や地域の方々と触れ合いながら活動することを通して、学びを深め、次の課題を生み出している。

夏休み明けは、「もっとやさしくする」ために地域の老人福祉施設や幼稚園での触れ合いを計画している。子どもたちの成長のためには、地域の皆さんとのかかわりが大きな力になるとかんじている。地域で活動する子どもたちをみかけたら、ぜひ声をかけていただきたい。

会長就任に当って

東通地区保健推進員会
会長　斎藤　誠

当推進員会は東通地区連合町内会（十三町内）を基に推進員十九名（役員九名）で構成運営されております。

自治活動において特に苦労している事は個人情報保護条例により、近所の交流が少なく、お互いの会話も希薄になっている事であります。時代が時代だと割り切ってしまえばそれまでですが、お互い工夫の中でおつき合いをする事が、健康で明るい生活が出来るものと思います。

当推進員会の主たる活動は推進員の研修ほか毎月二回の「歩こう会」には二十名からの参加で、自然に町内の交流が充実されることと感じる次第であります。

各町内会の会長さんが自ら会員となって活動されているところもありますが、どうぞ一緒に参加されて御高説を頂ければ幸いであります。

宜しくお願い致します。

歩こう会の皆さん

おらほの町内会

亀東会三区町内会

会長　小野地　英紀

私たちの町内会は、昭和三十六年に設立、依頼半世紀。当時は住民相互のコミュニティーの場として、大型バスでのレクリエーションを毎年実施。中でも昭和四十七年には、乳牛を六十頭ほど飼っていた秋田市太平の野田牧場に行き、広大な牧草地を眺めながら飲んだ牛乳が余りにもうまかった事から、今でも語り継がれている。しかし、昨今の町内を取り巻く環境は、少子・高齢化の進展が著しく町内会の運営も大きく変わって来ている。私たちは予測し難い災害に備え、これまでの災害訓練を生かし設立した「自主防災組織」や大人も参加する「こども花火大会」等々を通じ、「誰もが笑顔で支え合う」明るい町内を目ざし励んでいる。

野添町内会

副会長　木内　鏞生

横森入口バス停前に、地域の食糧基地の川口屋さんがあり、ここから町内を南北に走る道路沿いに一班、みはる食堂さんの北側向かいに二班、一班北側に三班、東宝美容院さん東側に四班、総数五十一世帯が当町内会の陣容です。

昭和二十五年の町内会結成で、新興住宅地の中では古い方です。手が込んでいるお庭、多くの野菜が穫れる畑、猫も住んでいる住宅等、特徴のあるお宅もありますが、皆、和気あいあいと仲良く住んでおります。

町内活動で特筆できるのは、平成十五年に役員選考委員会を設置し、十年先までの会長を含む役員候補を定めたことです。お陰様で、二年に一度のスムーズな役員交代がなされております。

中通地区町内会連合会

・中通中央地区町内会連合会

（平成24年６月24日現在）

役職名	町内会名	会長名	電話番号
顧問	前町内会連合会・会長	大嶋　洋三	832−2426
	中谷地町	柳屋　弘	832−3022
	東根小屋町	菅　道子	832−3051
	西根小屋町	後藤　一	833−8403
	中和会	丸の内　くるみ	832−2202
副会長	下長町	池田　成春	833−5701
	一番町親和会	金　政雄	833−8551
	有楽町北部	（未定）	
	亀西会南部	堀井　輝雄	832−4003
	亀ノ町親和会	粕谷　芳郎	833−8917
	亀尾会	高畑　恵子	834−3007
	亀ノ丁虎ノ口	大村　克彦	832−4585
	亀東会一区	鈴木　康子	832−5944
	亀東会二区	宇野　正恒	831−8982
副会長	亀東会三区	小野地　英紀	833−3350
	亀ノ丁堀反	石川　忠司	832−4351
	亀光会	能登　良一	833−6215
	亀ノ丁本新町	**鈴屋　正晴**	832−4303
事務局長	南通二丁目	越後　一信	832−2962
	田町	加藤　定見	832−3174
幹事	長野下堀反	嵯峨　齊	832−4148
監事	南通一丁目	佐渡　敬一	832−4026
幹事	長野下新町南丁	熊谷　明夫	832−6766
	長野下末南丁	石井　智治	832−3507
	長野下南横丁	樋口　誠一	832−5050
	中通新和会	太田　松五郎	834−2427
監事	南通東部	田口　和宏	834−3378
会長	長野下新町親交会	木山　二郎	833−5821

※町内会長の太字は平成24年定例総会後変更の方です。
会長以下連合会の役員は、防災組合の役員と兼務になります。

・東通地区連合町内会

1．顧問・参与

役職名	町内会名	会長名	電話番号
顧問	東通明田	寺田　光和	832−6826
〃	明和	後藤　昭三	834−2627
参与	野添	鳥海　定	833−7271
事務局長	鳥場前	小林　廣夫	834−5581

2．町内会長

会長	東通明田	加藤　長二郎	834−5620
	鳥場前	**高橋　陽一**	834−5429
	東通観音前東	**高橋　勇治**	834−6875
副会長	東通観音前西	相場　竹治	833−3101
	東楢山	佐々木　斎	834−2108
	長沼東	**工藤　俊悦**	832−2078
	明和	**石川　重雄**	833−6195
	野添新町	**櫻田　誠二**	836−2343
	野添北	**長谷川　学**	834−0947
副会長	むつみ	澤田　節夫	887−5478
	南城東	**武田　和之**	832−9881
	野添	**村岡　勲**	837−3109
	東野添	**森下　通也**	835−1469

○太字は新任

被災地「石巻市」から学んだこと

秋田市社会福祉協議会
常務理事・事務局長　大塚　妙子

今年の猛暑も少し落ち着き、皆様いかがお過ごしでしょうか。

日ごろから皆様には本会の事業運営にあたたかいご支援・ご協力をいただき心から感謝申しあげます。

さて、東日本大震災からあっという間に一年半が経過しようとしています。震災直後の停電が回復してテレビがついた時の、津波が押し寄せる惨状の衝撃は今でも忘れることができません。

少しでも被災地を支援したいという気持ちで、三月二十四日から十月まで秋田県社会福祉協議会を中心として県内市町村社協から職員延べ一、〇三四人を派遣したり、ペットと一緒に生活できる住宅の無償提供の情報提供、連絡調整や、ボランティアの紹介等の支援をしてきました。

ようやく落ち着いた今年度の春に地区社会福祉協議会連絡会の研修会として、宮城県石巻市社会福祉協議会へ「東日本大震災に際しての社協と地域との関わりについて」のテーマで視察研修をお願いいたしました。

今後のためどういう取り組みが必要かを学びたいという気持ちに応えていただき、仮設住宅支援業務等で多忙な中、経験を共有することが大切だからという広いお気持ちで丁寧に対応してくださいました。特に参考となつたのは、宮城県と石巻市と石巻市社会福祉協議会が「宮城県沖地震」等大規模災害が起こりうるという想定でいざという時の災害ボランティアセンターの立ち上げについて三者協定を結んでいたことです。そして災害ボランティアセンターの設置場所として、地元の大学構内を利用することで調印する運びとなっていた矢先の震災だったので、スムーズに大学構内にテントを設置し、全国からいち早く石巻市にボランティアが入り延べ十二万人が活動してくれたとのこと。その中からボランティアの意思疎通をはかり、被災者の多様なニーズに対応するための「石巻ＮＰＯ連絡調整会議」を発足させ、細やかな支援活動が展開できたことが、地元復興の力になつていること。町内会で日頃どれだけ災害時に向けた話し合いをしているかがとても大切であること等々、多くのことを学ぶことができました。

現地での学びを活かして「もしもの時の対応」を、行政と地域の皆様と共に着実に創っていきましょう。

平成二十三年度 中通地区敬老会

敬老会に参加して

東通明田町内会
若林　ヤエ

二年続けて参加させて戴きました。最初の年は、まだ若いと思っていたのに、そんな年齢になったのかと参加を躊躇したものでしたが、町内のみなさまの勧めで参加することにしたのでした。

当日、会場に入りボランティアの方々の笑顔で迎えられホッとし、お世話になった先輩や、現職だった頃、共に子育てに悩んだ方々を目にし、懐かしさが込み上げ、歩み寄って手を握り合いました。

会が進行するにつれ、お互い杯を酌み交わす中、明治、大正、昭和といろいろの出来事のあった、その時代を生き抜いて、今の幸福を再認識し、共に過ぎし日を回顧し、若返れたようです。

年に一度、逢える喜びを楽しみに来年もまた、健康で参加したいものと思いました。

最後に、この会を計画されている社協、民児協の方々に深く感謝いたします。

福祉レクに参加して

東根小屋町内会
小泉　美代子

六月二十一日のレクに我が町内からは私一人でしたが、同じ学区、誰か昔の仲間がいるだろうからと何年振りかで参加しました。当日はあまり上天気ではありませんでしたが、二台の小型バスに分乗してサンルーラル大潟めざして出発。前に参加したときより大分少ないなと思ったら、総勢五十人とのこと。

我が町内でも毎年親睦のため、レクリエーションを行っていますが、二十人足らずでも送迎バスがあり、温泉があり、しかも手頃な価格でという条件を満たす候補地を決めるのに係の者は苦労しているので、地区社会福祉協議会の皆さまの大変さを痛感しております。

途中天王グリーンランドや生態系公園へ寄り、買物や美しい花々を鑑賞。お昼前には目的地サンルーラルに到着。何回か来ているので、早速勝手知ったる展望風呂へ。広々した干拓地を眺めてのお風呂は最高。そしていよいよ宴会へ。会長さん方のご挨拶を聞いた後、お待ちかねのおいしいご馳走を食べながら乾杯、乾杯。おしゃべりあり、カラオケあり、楽しいひと時を過ごし、午後三時帰途に着きました。

私が思うに、このような行事を毎年やるのはどうかなと思う人も居るかもしれないが、天変地異の多い昨今、顔と名前を覚え、何かの折、お互いに助け合えればいいなと。

お世話下さった皆さまありがとうございました。

中通地区民生・児童委員協議会の活動

～「広げよう　地域に根ざした　思いやり」～

もしもの災害に備えて

★家族の防災対策は万全ですか

○防災についての家族での話し合い、役割分担、避難場所と避難経路
○いざという時の連絡方法、連絡場所の確認
○防災用品（非常持ち出し品と非常備蓄品）のチェック
○生命や財産を守るために緊急時に必要となる記録
○地域の防災訓練への積極的な参加
○近所の方との良好な関係づくり

★地域における防災対策

○ひとり暮らし、寝たきり、高齢者のみの世帯等の要援護者リストの作成
○要援護者、避難場所、避難経路等の防災マップづくり
○高齢者・寝たきり・子育て家庭などの要支援者に対する日常的な見守り安否確認
○災害時支援を必要とする方に避難情報を伝達する連絡網の作成と情報伝達、避難誘導等を含めての防災訓練
○各町内会、自主防災組織、中通地区民生児童委員協議会、中通地区社会福祉協議会などの関係機関・団体との連携・協働して、要援護者の災害時、平常時の相談・支援活動

「民生委員の日」のＰＲ活動

民生委員・児童委員は、法により、守秘義務が定められており、相談内容や秘密が他に漏れることはありません。

地域住民の皆さんへのお願い

「なにか変だな」と気づかれたら、すぐ町内会長、民生・児童委員にご相談ください。
隣近所の温かい見守りが尊い命を救います。

◎いくら呼んでも出てこない
◎一日中電気がつきっぱなし
◎夜になっても全く電気がつかなくなった
◎家からの出入りが全くない
◎最近姿が見えなくなった
◎雨戸の開け閉めがなくなった
◎ゴミ出しに全く来なくなった
◎庭の草木が荒れている
◎子どもの声がしなくなった
◎児童虐待ではと思われるケースなど

民生委員・児童委員は、地域の子どもたちのすこやかな成長を見守るためにいろいろな支援活動をしています。

「おはよう」等の声かけ活動

チャイルド中通

中通児童館を開放

毎週火曜日
・4月～10月
　10時～11時30分
・11月～3月
　10時30分～12時

３歳くらいまでの乳・幼児が対象
中通小学校が休みの時は休館

問い合わせは前沢まで
TEL 018-834-1724

子育て支援活動

受賞おめでとう

平成二十三年八月～平成二十四年七月分（敬称略）

○秋田市緑化コンクール
町内会
（優秀賞）東野添町内会「花の友」
（優良賞）東通観音前西町内会
フラワーパーク会
学校
（優秀賞）秋田市立秋田南中学校
特別支援部

○秋田県花だんコンクール
町内花だん
（優良賞）東野添町内会「花の友」
（優良賞）東通観音前西町内会
フラワーミニパーク会
学校
（優秀賞）秋田市立秋田南中学校
特別支援部

○秋田市社会福祉協議会表彰
（地区社会福祉協議会役員）
鳥海　定（野添町内会）

○消防功労表彰
秋田市消防団中央分団中通班
（永年勤続功労章）
太田　勉（長野下堀反町内会）

○秋田市緑化功労者受賞
徳原　鉄次（東野添町内会）

○秋田市「市の記念日」表彰
（功労者表彰）
川口　房男（長野下新町親交会）
（一般表彰）
自治振興（町内会長）
池田　成春（下長町町内会）
高畑　恵子（亀尾会）
越後　一信（南通二丁目町内会）
（社会福祉・民生委員、児童委員）
佐藤　輝雄（亀ノ丁本新町町内会）

善意・寄付金

寄付金／香典返しについては、「秋田市社協だより」でお知らせしておりましたが、「ひろば」にも記載し重ねてお礼申し上げます。なお、地区の社会福祉事業に使用させていただきます。

（平成二十三年九月～平成二十四年八月まで）

小浜京子　様（五万円）
菅原晟　様（十万円）

被災者に学んだ、繋がりの力

中和会
会長　丸の内　くるみ

今年六月、福島県の会津若松市に行ってきました。

東日本大震災で水素爆発まで起こした東京電力福島第一原発の所在地、大熊町の人たちの仮設住宅を訪ねるためでした。

これは、全国の問題意識ある行政マンの団体、行政経営フォーラムの事業で、目下話題の橋下大阪市長の特別顧問、上山信一慶応大学教授が主宰し、私も十四年前から会員なのです。

事故が起こった時、住民には原発側から何ら詳しいことが告げられずに避難してきたとのことでした。

会津若松に大熊町役場の出張所が開設され、住民は何カ所かの仮設住宅で生活していました。

仮設住宅が建つと、避難所の手を上げた人たちから移っていく場合もあったようですが、大熊町は町長の決断で、町内の人たちが一緒に同じところに移ったのです。この町長の英断が、その後町内の人たちをどんなに支える力になったか、話を聞いてわかりました。

「ここの嫁さんは、あそこの町から来てるんだ」と言う会話が出てくる繋がりには、よく新聞紙上で見る「仮設住宅での孤独死」とは無縁の和やかさがありました。

全国からの会員は何班かに分かれ、それぞれ名産のお菓子を持ち寄り、その説明から始めたのですが、私の班の訪問した仮設住宅集会所では、私たちのためにワラビを前もって採りに行ってくれた人がいて、「この辺りで採れば、五〇〇ベクレルもあるから、一〇〇キロ先まで採りに行った。ちゃんと線量計で測って大丈夫だったから、安心して食べて」と言われました。その美味しかったこと。

「息子も原発の三号機に入っていた。一八〇ミリシーベルトの被爆をした人が戻されて、息子が代わりに原発の収束作業をしている。家族は毎日まるで戦場に送り出すような気持で、追い詰められてきている」と。あまりの重い内容に、返す言葉もなく聞いていました。

大熊町では、五年間帰還できない帰還困難区域に、九五％の町民が住んでいたとのことです。

町内の繋がりがあるからこそ、重い現実の中、一日一日と過ごしていられる。その繋がりがあるから、ワラビを採りに行く気持ちも湧いてくるのだと思わされました。

別れ際に、「私たちのこと忘れないでまた来てね」と言った言葉とその笑顔は忘れられません。

お互いに会えば、「やぁ、どうもどうも」と声を掛け合う地域の繋がりは、いざという時の大事な繋がりの力になるのだと、つくづく感じながら帰ってきました。